

外国語活動の手引き

～5つの課題とその解決に向けて～

悩み解決！

これは使える！

I like English.

What subject
do you like ?



平成23年3月

群馬県教育委員会

目 次

I	外国語活動の目標と達成のための留意事項	1
II	実践上の課題とその解決のための方策	
	外国語活動の実践上の5つの課題	2
	課題1 教師の苦手意識の克服	3
	課題2 活動・教材の充実	5
	課題3 ALT・地域人材の効果的な活用	9
	課題4 小中連携の推進	12
	課題5 評価の充実	13
III	小学校1～4年生の外国語に触れる活動について	17
IV	アンケート調査から見える外国語活動のよさや課題	
	1 子どもの変化について	19
	2 教師の変化について	20
	3 つまづきの実態について	21
	4 小中連携について	23
V	参考資料	
	1 「新教育課程の編成・実施に向けた参考資料」	24
	2 校内研修計画例	26
	3 年間活動計画例	28
	4 単元計画例	29
	5 1単位時間の活動計画例	30

*群馬県教育委員会のWebページには、この他にも各種の計画例等が掲載してあります。
〈群馬県教育委員会 各課室提供資料 義務教育課 検索〉

<http://www.karisen.gsn.ed.jp/boe/htdocs/>

はじめに

外国語活動は、平成20年3月に告示された学習指導要領から、章立てされ、平成23年度から全面実施となります。

県教育委員会では、全面実施に備え、中核教員研修をはじめとして、様々な研修会の開催や、参考資料の作成などの準備を進めてきました。

平成22年度の調査では、既に、県内の98%の学校で、先行実施をしています。先行実施を進める中、各学校からは、新たな課題や疑問の声が出されており、平成22年度に県が外国語活動実践推進校に行ったアンケート調査からも、同様の傾向が見受けられます。

県では、これらの課題等の解消に向け、「小学校外国語活動推進協議会」を立ち上げ、その解決に向けた手立て等協議してきました。

本資料は、これらの協議を踏まえ、実施上の課題を大きく5つに分類し、その解決策等を手引きとしてまとめたものです。

各学校では、本資料を活用し、外国語活動の実施にかかわる校内の共通理解を深め、外国語活動を推進していただければ幸いです。そして、その結果として、「英語が好きな子ども」や「外国の方だけでなく、友だちともコミュニケーションを図ることが好きな子ども」が県内各地域で育っていくことを願っております。

結びに、本手引きの作成に御尽力いただきました関係各市町村教育委員会及び実践推進校関係者の皆様、その他関係各位に心から感謝を申し上げます。

平成23年3月

群馬県教育委員会義務教育課長 堀澤 勝

I 外国語活動の目標と達成のための留意事項

学習指導要領において、外国語活動の目標は以下のようになっています。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

この目標を達成するために、以下の事項に留意して指導にあたりましょう。

1 「関心・意欲・態度」の重視

指導を行う際にスキル中心にならず、体験を通してコミュニケーションへの関心や意欲を高め、コミュニケーションへの積極的な態度を育成していくことが外国語活動の重要なねらいの一つとされています。

そのために、「児童が外国語の音声表現に慣れ親しめる活動」、「外国語を使って楽しめる活動」を多く取り入れましょう。

2 音声を中心とした指導の充実

小学校段階では主に音声面（聞く、話す）を中心とした指導を行いましょう。文字（書く、読む）については、音声面を補助する程度にとどめましょう。なお、発音と綴りの関係については、中学校学習指導要領により中学校段階で扱うものとされており、小学校段階で取り扱うこととはされていません。

3 コミュニケーションの体験の充実

コミュニケーションの楽しさを理解させるためには、実際にコミュニケーションを体験させることが大切です。ALT 等が訪問できる時間は、できるだけ ALT 等とのコミュニケーションの場を設けましょう。また、ALT 等が訪問しない時間については、教師と児童、児童と児童間でコミュニケーションの場を設定しましょう。

4 学習の系統性への配慮

小学校では、特に中学校とのつながりについても十分配慮することとされています。小学校段階で養われる、「コミュニケーション能力の素地」は、中学校での、「コミュニケーション能力の基礎」（初歩的な英語を用いて、相手の意向などを理解したり、自分の考えなどを伝えたりする力）を養うことへつながることを念頭に置き指導にあたりましょう。

Ⅱ 外国語活動の実践上の課題とその解決のための方策

外国語活動の実践上の5つの課題

課題1 教師の苦手意識の克服

- (1) 英語力に自信がないけど、大丈夫？
- (2) テンポよく、活発な授業ができるか不安・・・
- (3) 5・6年生の担任になると外国語活動があるんですね・・・

課題2 活動・教材の充実

- (1) やっぱり英語ノートは使った方がいいの？
- (2) 子どもの興味を長続きさせるにはどうしたらいいのでしょうか？
- (3) 教材の準備がたいへん・・・

課題3 ALT・地域人材の効果的な活用

- (1) ALTとうまくチーム・ティーチングがしたい！
- (2) 英語は上手に話せないけど、ALTとうまく打ち合わせがしたい！

課題4 小中連携の推進

小中の連携ってどんなことをしたらいいの？

課題5 評価の充実

外国語活動の評価ってたいへんそう！

課題1 教師の苦手意識の克服



(1) 英語力に自信がないけど、大丈夫？



大丈夫です！

英語力に自信がなくても外国語活動の授業は十分できます。

なぜなら・・・

- 外国語活動の授業では、正確な発音や文法よりも、外国語を通してコミュニケーションの楽しさを教えていくことが、重視されるからです。
- 英語ノート付属の音声CDやALT等を活用すれば、授業で扱う英語は、ほとんどカバーできるからです。

英語力に自信がないと感じている先生は、まず、**指導する単元で扱う中心となる表現**を確認しましょう。例えば、英語ノート1のLesson 5であれば、

“I don't like blue. Do you have a red cap?” と

“white, black, pants, skirt”などのいくつかの色と服の種類を、指導の前に確認しておけばよいのです。

英語ノートで取り扱われる主な表現については、

小学校外国語活動教員研修ガイドブック 実習編（平成20年6月文部科学省）

の121～126ページに掲載されています。短時間で確認できますので、ぜひ活用ください。

【実践推進校からのアドバイス】

- 担任は、『学習者のモデル』として、「先生も英語をペラペラ話せないけど、みんなと一緒に英語での活動を楽しむよ。」と気楽に思うことができれば、子どもの前に立って、「上手な英語を使わなければならない・・・。」と不安に陥ることもないと思います。
- 子どもたちが「外国語活動は楽しい！」と思ってくれたり、普段あまり交流のない男子と女子が会話をしたりする姿を見ると、「やってよかったな。」と思います。あまり力まず、まずは一緒に楽しんでしまうとよいでしょう。





(2) テンポよく、活発な授業ができるか不安…



大丈夫です！ 外国語活動はこうしなくてはいけないというスタイルはありません。

- 例えば、国語の授業において、同じ展開例を使っても指導者が違えば、授業のスタイルは変わってきます。外国語活動も同様です。指導者の個性に応じて無理のない授業スタイルを見つければよいのです。ただし、外国語活動では、コミュニケーション能力の素地を養うことが目標なので、話しやすい雰囲気、人とかかわりやすい雰囲気をつくっていくことは大切なことです。
- 「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料（小学校版）DVD（平成22年8月 文部科学省）」などを参考に、自分に合った授業スタイルを見つけるのもよいでしょう。



(3) 5・6年生の担任になると外国語活動があるんですね…



大丈夫です！ 外国語活動は5・6年の学級担任だけが取り組むものではなく、学校全体で取り組むものです。

- 授業は学級担任が中心となって行うものですが、研修や指導計画等の作成などは、学校全体で取り組むものです。外国語活動の中核教員等が中心となって全校で研修を進めることで、外国語活動についての理解が深まり、誰でも安心して外国語活動に取り組めるようになるのです。
- まずは学校全体で外国語活動の研修が行える体制を確立しましょう。

【実践推進校からのアドバイス】

- 授業の実践を重ねていき、授業研究会などで協議を進めていく中で、外国語活動の授業というものが見えてきました。「誰が教えることになっても大丈夫。」となるよう研修が進められるとよいでしょう。



課題2 活動・教材の充実



(1) やっぱり英語ノートは使ったほうがいいの？



まずは使用していくことをお勧めします。

なぜなら・・・

- 英語ノートは、文部科学省が外国語活動の趣旨や内容に沿って授業が行えるように作成されているからです。
- 指導資料、音声・視聴覚CD、絵カードなどの補助教材が充実しているからです。指導資料には年間指導計画や展開例など様々な参考資料が掲載されています。

実際に英語ノートを使用していくと「ノートに書き留めることに集中してしまい、顔を上げてコミュニケーションが取りにくい活動」や「子どもたちの実態や発達段階に合わない活動」などがあるかもしれません。英語ノートを活用していく中で、ねらいや児童の実態に応じてアレンジしていくことが大切です。その際には、

- ・コミュニケーションを図る楽しさ
- ・コミュニケーションの頻度
- ・コミュニケーションのしやすさ

などの観点で検討するとよいでしょう。

また、市町村や学校独自の指導計画等があり、英語ノートとの併用を考えている場合、それぞれのメリットを生かしながら、内容や活動を精選していくことが大切です。

【実践推進校からのアドバイス】

- 「英語ノート」にある歌やチャンツをそのまま使おうとすると、難しい時があります。実態に合わせて別の歌詞にするなど工夫して使うとよいでしょう。



国の動向

「英語ノート」の名称で文部科学省から教材が配布されるのは、平成23年度使用分までとなる。平成24年度以降は新教材が配布される予定である。内容的には英語ノートをベースとして、改善したものを予定している。



(2) 子どもの興味を長続きさせるにはどうしたらいいのでしょうか？



知的好奇心をくすぐる内容や方法を考えましょう。

- 外国語活動の授業においては、コミュニケーションを図る場面が多く設定されるので、「相手の知らない一面がわかった。」「外国の学校では日本の学校とこんなに違うんだ。」などの内容的な面白さがある活動を設定することが大切です。
- ゲーム的な活動を行う際には、以下の点に留意しましょう。
 - ・活動のねらいをもち、子ども・教師・ALT等が同じ目的意識をもって活動に取り組めるようにしましょう。
 - ・ゲームに必要な表現を吟味し、子どもたちの過重負担にならないよう配慮しましょう。
 - ・ゲームのルール等の説明は、実演を交えて行い、説明は簡略化しましょう。
 - ・同じゲームを複数回行う場合は、説明がより簡略化できるので、その分、内容や方法を発展的なものにするなどの変化をもたせましょう。
 - ・競争意識を高めることにのみ偏ることなく、やりとりの大切さを実感できるように工夫しましょう。



(3) 教材の準備がたいへん・・・



大丈夫です！ 共同で準備し、共有しましょう。

具体的には以下のような方法が考えられます。

- 学年・高学年ブロック・全校でアイデアを出したり、教材を作成したりする。
 - 「教材室」などを設け、誰でも使用できるようにする。
 - 校内のファイルサーバーなどに共有フォルダを作成し、ワークシートなどを共有する。
 - 複数のレッスンで使用することを考えて教具を作成する。
- ※英語ノートの視聴覚CDには、絵カードなどの電子データも入っていますのでプリントアウトをして活用するのもよいでしょう。

【実践推進校からのアドバイス】

- 教材づくりは、学校全体を巻き込んで行うことで、教師の意識が高まっていくことにもつながります。長期休業等を利用して、楽しみながら教材づくりをしていきましょう。





 **英語ノートの使い方が見えてきました**

(1) 英語ノートの各 Lesson の題材（テーマ）に基づく単元構成の基本的なスタイル及び各 Lesson の Activity、Let's listen、Let's play の活用方法を明らかにしました。

《各 Lesson の題材（テーマ）に基づく単元構成の基本的なスタイル》

- ①単元を中心となる活動（コミュニケーションを図る活動）の設定
 - 題材に沿った「場面（コミュニケーションの目的）」、「言語の働き」を明確にし、児童同士、児童とALT・学級担任の「対話形式の活動」を各単元に設定した。
 - 対話の中では、慣用表現（Hi. Excuse me. Thank you 等）を有効に使えるようにする。
- ②題材に関連する「言語の働き」や「言語材料」に慣れ親しむ活動の設定
 - 単元及び各単位時間の学習過程に「言葉の働き」や「言語材料」に慣れ親しむ活動を段階的に位置づけ、「コミュニケーションを図る活動」へと導くこととした。
 - 慣れ親しむ活動は、「聞く活動」(input)→「聞いて、話すことを試みる活動」(intake)→「コミュニケーションを図る活動」(output)の展開の中で行われ、「聞く活動」に重きが置かれる。

《各 Lesson の Activity、Let's listen、Let's play の活用方法》

- ①単元の中心的活動（コミュニケーションを図る活動）として主に活用する方法
 - 活動の場面や状況、目的を明確にする。
 - 慣用表現を加えた対話形式の活動にする。
- ②題材に関連する「言葉の働き」や「言語材料」に慣れ親しむ活動として主に活用する方法
 - ゲーム形式やチャンツなどにより音声を繰り返し聞くことによって、児童が知らず知らず、慣れ親しむことができるようにする。
 - 簡単な語彙、話題、内容を聞き取ることが主たる目的となる活動によって、推測や想像も働かせながら、慣れ親しむことができる。

(2) 英語ノートの有用性と課題が見えてきました。

《英語ノートの有用性》

- Activity、Let's listen、Let's play の内容が活動水準を示しているので、英語活動全体の水準確保が図れる。
- 活用に自由度があり、既存の指導計画と組み合わせたりしながらの単元構成等を行える。
- 付属のCD教材や巻末資料が活動へのモチベーションを高める上で有効である。
- 児童の共通の学習履歴として有効である。
 - ・学習成果（どのような表現を聞いたり、話したりすることができるようになってきたのか）等を、中長期的（単元毎、学期毎）に振り返ることができる。
 - ・特に、「英語ノート2」は自己表現に関する事柄が多いことから、振り返りに効果的である。
 - ・授業の復習等、家庭学習の教材としても活用できる。
- 家庭学習でも、イラストやカードを使った復習等が可能である。

《英語ノート活用のための今後の課題》

- 『英語ノート1』から『英語ノート2』への活動水準のやや急な高まりに対応した手立てが必要である。
 - ・活動のための文構造が複雑になってくるとともに、一つのレッスンの中に新出単語や表現の数が多し。複数の単元に分散した扱いが必要である。
 - （例）『英語ノート2』-Lesson 7
A:What time do you get up? B:I get up at (時刻).
時刻と動作 (get up など) 両方とも英語を使って表現するのは難しい。
 - ・『英語ノート2』の「Show&Tell」や「Speech」は、英語のスキル等で難易度が高く、取組が困難な児童が増える。発表に至るきめ細かな手立てが必要である。
- 英語ノートの会話文の中には、実際の場面では使われないと思われる表現も含まれている。場面や状況に条件をつけて扱う必要があるのではないか。
 - （例）『英語ノート1』-Lesson6：ウェイターが「What do you want? 」と客に聞いたり、『英語ノート2』-Lesson5：道案内で Turn～だけの説明は不自然である。
- 6年生では、児童の気持ちや考えをやり取りすることに、抵抗感を感じる様子が見られる。仮想の場면을仮定したり、ロールプレイとして実施したりするなど、活動に工夫が必要である。
- 英語ノートの各活動を行うことで、どのような学習が可能になるのか、英語活動の趣旨や目的、児童の実態等に照らして明らかにした上で活用していく必要がある。

課題3 ALT・地域人材の効果的な活用



**(1) ALTとうまくチーム・ティーチング
がしたい!**



まずは学級担任とALT等の役割を明確にしましょう。

学級担任の役割	ALT等の役割
<ul style="list-style-type: none">・授業の進行（展開の調整等も含む）・主な活動の説明やALTの説明の補足・子どもの実態把握と対応・ALTとの会話やゲームのやり方の実演 等	<ul style="list-style-type: none">・音声のモデル・コミュニケーションのモデル・異文化理解の紹介者またはモデル 等

次に、学校で基本的な授業パターンを決めておきましょう。

例えば・・・

授業の流れ
<ol style="list-style-type: none">①（あいさつ）ウォームアップ②復習③本单元にかかわるALTの話④主な表現に慣れ親しむ活動⑤コミュニケーション活動⑥振り返り

- ①では、日常的に使う表現を使ったゲーム
- ③では、子どもたちの関心が高い事項について、ALTの母国ではどうなのかを話してもらう。
- ④では、慣れ親しませたい表現を用いて、ALTと学級担任で、コミュニケーションを図るところを見せる。

などが考えられます。

授業パターンがある程度決まっていれば、事前にねらいや使用する英語表現などをALTに伝えておき、活動内容を考えてもらうこともできます。

※ALT等とのチーム・ティーチングを行う際に大切なことは、学級担任がイニシアティブを取り、授業をコントロールすることです。ALTの話す英語が速いのであれば、ゆっくり話してもらうように指示するなど、子どもたちの様子を見ながら、授業の流れを調整していきましょう。授業の指示などについては遠慮せず、はっきり言うことが大切です。



(2) 英語は上手に話せないけど、ALTとうまく打合せがしたい！



**他の教師と合同で打合せを行ったり、参考資料を活用したい
しましょう。**

- 外国語活動主任や5・6年の教師と合同で打合せを行うことで、ALTとの意志疎通がうまくいきやすくなります。さらに条件が許せば、中学校の英語教師などに加わってもらうの方法もあります。
- 3ページで触れた

小学校外国語活動教員研修ガイドブック実習編（平成20年6月文部科学省）

にはALTとの打合せに役立つ英語表現も掲載されていますので参考にしてください。

※ 打合せの時に、英語を使って行うことは難しいのは当然です。日本語を使ったり、図などをかいたり、他の先生と実際に活動を行って理解してもらうなどの方法もあります。英語ノートの指導資料の展開例の英文や“Let’s Listen”の台本を見てもらうだけでもイメージは伝わるでしょう。ALTとのコミュニケーションの手段を英語のみにとらえず、幅広く考えましょう。

— 打合せ時間の確保と効率的な打合せのための方策例 —

- 週時程に打合せの時間を組み込む。
- 事前に電子メールやFAXで活動案のやりとりを行う。
- 打合せ用紙を作成し、ポイントを絞って打合せを行う。
- 役割分担を明確にして、毎時間いくつか必ず行う活動（ウォームアップ、自国の文化についての話など）を決めておく。
- 市町村教育委員会等に相談し、ある曜日のALTの勤務時間帯を調整してもらい、放課後に5・6年生担当教員と合同の打合せを行う。

— 事前打ち合わせでALTに知らせておくことよいこと —

- スケジュール等の訪問の日程に係る基本情報
- ねらいや中心となる表現
- 中心となる表現について、子どもたちがどの程度慣れ親しんでいるか
- 活動のねらい・形態・活動時間
- 子どもたちのことに関して知らせておいた方がよいこと

A L T との事前打ち合わせ用紙例
(A L T V i s i t F o r m)

学 校 名 Name of the school	○○小学校 ○○ E l e m e n t a r y S c h o o l (Address)	TEL FAX E-mail 担当者名 (Teacher in Charge)
訪問時間 Date and Time	平成 年 月 日 : 職員室 (Teachers Room)	

時間割 (Time Schedule)

Period	Time	Contents (内容)	Teacher	Place
1 時間目 (Period I) 打合せ (Arrangements)	9:00 ~ 9:30	授業の打合せ (To meet teachers in charge)	Ms.○○ Mr.○○	Study Room
2 時間目 5 - 1	9:35 ~ 10:20	Eigo Note Lesson 8 (P54、P55) 時間割を作る (Students make the school timetables)		5 - 1
3 時間目 5 - 2	10:40 ~ 11:25	5 - 1 と同じ (Same as 5 - 1)		5 - 2
4 時間目 6 - 1、2	11:30 ~ 12:15	Eigo Note Lesson 8 (P54、P55) 職業を知る (Knowing a lot of occupations)		English Room 【合同で】
Lunch	12:30 ~ 13:10			6 - 1 【順番で】
5 時間目 打合せ (Arrangements)	13:30 ~	次週の内容の確認と教材の準備 (To meet teachers in charge About next week visit)		Teachers Room
備考 (Notes) あなたの国の学校の写真を何枚か持ってきてください。 (Please bring some pictures of your school in your country.)				

課題4 小中連携の推進



小中の連携ってどんなことをしたらいいの？



まずは情報交換から始めてみましょう。

○情報交換の方法として、具体的には、次のようなことが考えられます。

- ① お互いに授業参観をする。
- ② 指導計画・指導内容を交換する。
- ③ ①や②を基に話し合う場を設ける。

○情報交換の場を計画的に位置付けることで、より効果が期待できます。
位置付け方として、具体的には、次のようなことが考えられます。

- ① 年間の行事予定に組み込む。
- ② 主任会を中学校と合同で行う。

※中学校の英語学習で小学校の外国語活動で培われた素地を効果的に生かしていくためにも、中学校や同じ校区内の他の小学校との協議や情報交換の機会を設けたり、可能な範囲で活動内容の共通化を図ったりしていくことが大切です。
小学校、中学校のそれぞれの役割を明確にし、自信をもって指導に当たりますよう。

【実践推進校からのアドバイス】

○外国語活動の研究授業を行う際に、中学校にも声をかけ、外国語活動の学習内容をわかってもらうようにしています。また、年間指導計画を中学校に提供し、外国語活動で扱った表現等を伝えています。

○外国語活動の授業で、担任が使う英語での指示や説明等をファック

スで中学校に送り、英語担当の先生に確認してもらうなどの協力を得ています。



課題5 評価の充実



外国語活動の評価ってたいへんそう！



大丈夫です！ 無理のない評価の計画を立てましょう。

○無理なく適切な評価を行うために、下記のポイントを参考にしてください。

- ・授業における評価項目は必要最小限に抑える。
- ・自己評価カードの質問項目を工夫する。
- ・チーム・ティーチングを行う場合、T2、T3の協力を得る。

※授業において評価の項目を設定する場合、無理にたくさんの項目を設定したり、細かい文言にこだわり過ぎてしまったりすると、評価本来の目的が果たせなくなってしまいます。具体的な子どもの姿を設定し、子どもたちの姿や活動をより適切に把握すること、指導に生かせるかどうかということに重点を置いた評価に心がけましょう。

※評価の方法として、観察は主な手立てではありますが、ALT等の評価、英語ノートの点検等、評価したい観点に応じて複数の手立てを活用していきましょう。自己評価カードを活用する場合には、質問項目を評価したい内容に沿って設けると評価の手段として効果的なものとなります。

— 自己評価カードの質問項目の例 —

- ・今日の授業でどんなことに興味をもちましたか。
- ・今日の活動で気付いたことはどんなことですか。 など

— 【実践推進校からのアドバイス】 —

- 子どもたちの表現や発音の正確さにこだわり過ぎないことが大切です。
- 「できたね」「じょうずだね」だけでなく、「よくやったね」(Nice try!, Good challenge!)などの過程を認めて賞賛する言葉を多くしています。



文部科学省・群馬県教育委員会発行の資料を参考にしましょう。

参考資料・通知

- ・「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）平成22年3月24日」（文部科学省）
- ・「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）平成22年5月11日」（文部科学省）
- ・「学習評価について 平成22年11月」（群馬県教育委員会）

「評価の観点と要録への表記について 平成22年12月」（群馬県教育委員会）

今年度、文部科学省から評価の観点についての例と要録への表記の仕方について下記のように示されました。

平成22年5月11日付22文科初第1号通知「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」より

別紙1 小学校及び特別支援学校小学部の指導要録に記載する事項等

II 指導に関する記録

2 外国語活動の記録

小学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）小学部における外国語活動の記録については、評価の観点を記入した上で、それらの観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記入する。

評価の観点については、設置者は、小学校学習指導要領等に示す外国語活動の目標を踏まえ、別紙5を参考に設定する。また、各学校において、観点を追加して記入できるようにする。

下線部の解釈 「設定した観点すべてに対して、顕著な事項の特徴などを記入する。」

記入例

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名		学校名		区分	学年	1	2	3	4	5	6
				学級							
				整理番号							
各教科の学習の記録						外国語活動の記録					
I 観点別学習						観点 / 学年					
教科	観点	学年	1	5	6	5			6		
国語	国語への関心・意欲・態度					コミュニケーションへの関心・意欲・態度			それぞれ の観点に 対して、文 章で記入 する。		
	話す・聞く能力					外国語への慣れ親しみ					
	書く能力					言語や文化に関する気付き					
	読む能力										
社会	言語についての知識・理解・技能										
	社会的事象への関心・意欲・態度										
	社会的な思考・判断・表現										
算数	観察・資料活用										
	社会的事象についての知識・理解										
	算数への関心・意欲・態度										
	数学的な考え方					学年	学習活動	観点	評価		
	数量や図形についての技能					総合的な学習の時間の記録					
	数量や図形についての知識・理解										

※各教科の学習の記録欄には、**観点は設置者が定める。**とあり、外国語活動の記録欄には、**各学校で観点を追加可能**とあり、**それぞれの観点に対して、文章で記入する。**とあり、矢印がそれぞれを指している。

※外国語活動の評価については、国立教育政策研究所から「評価に関する事例集」が配布される予定です。ここには、今年度になって新しく示された観点到った評価事例が掲載される予定です。

「学習評価について」（外国語活動） 抜粋

群馬県教育委員会義務教育課（平成22年8月）

(1) 評価の観点の趣旨について

a コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかどうかを評価する。
- ・子どもが実際にコミュニケーションを行おうとしている状況を観察するなどして評価する。

b 外国語への慣れ親しみ

- ・様々な活動を通して、外国語の音声やリズムなどに慣れ親しみ、設定された表現等を使用して、自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを理解したりしているかどうかを評価する。
- ・子どもの行動や発言の観察、また、活動の中で子どもが作成したものや、子どもが記したワークシート等から評価する。

c 言語や文化に関する気付き

- ・言葉の表し方の違いや言葉の多様性、言葉の面白さや豊かさ等に気付いているかどうかを評価する。
- ・行動観察や自己評価等から評価する。

(2) 「評価規準の作成のための参考資料」から

－ 「英語ノート」の1単元を例に考えられる評価の在り方 －

①単元名：「英語ノート2」Lesson3 「友だちの誕生日を知ろう」

②単元目標

- ・世界と日本の祭りや行事について興味をもつ。
- ・積極的に友だちに誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。
- ・英語での月や誕生日の言い方、誕生日の尋ね方に慣れ親しむ。

③単元評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】（下表ではコ）

- ・誕生日についてすすんで尋ねたり、答えたりしようとしている。

【外国語への慣れ親しみ】（下表では慣）

- ・月の名前を言っている。
- ・誕生日を聞いて理解している。
- ・誕生日を尋ねたり、答えようとしたりしている。

【言語や文化に関する気付き】（下表では気）

- ・日本の行事についてのクイズに答えている。
- ・世界の行事について日本との違いに気付いている。

④単元指導計画（時間配分 4 時間）

目標・活動	評 価				
	コ	慣	気	評価規準	評価方法
世界と日本の祭りや行事に関心を持ち、月の言い方を知る。 Activity 行事と月とを線で結ぼう Let's Play キーワード・ゲーム Let's Chant ♪ Twelve Month ♪ Let's Listen 行事と国名とを聞き取ろう				○ 日本の行事についてのクイズに答えている。 ◎ 世界の行事について日本との違いに気付いている。	行動観察・英語ノート点検 振り返りカード点検
月の言い方に慣れ親しみ、誕生日の尋ね方や言い方を知る。 Let's Play キーワード・ゲーム Let's Chant ♪ Twelve Month ♪ Let's Play ミッシング・ゲーム Activity 自分の誕生日の言い方を知ろう				○ 月の名前を言っている。 ○ 月の名前を言っている。 ◎ 誕生日を答えている。	行動観察 行動観察 行動観察
誕生日の尋ね方や言い方に慣れ親しむ。 Let's Chant ♪ Twelve Month ♪ Let's Play ステレオ・ゲーム Let's Listen 名前と誕生日とを線で結ぼう				○ 誕生日を聞いて理解している。 ◎ 誕生日を尋ねたり答えたりしている。	行動観察・英語ノート点検 行動観察
自分や相手の誕生日について、すすんで交流する。 Let's Chant ♪ Twelve Month ♪ Activity1 アルファベットの文字を入れよう Activity2 誕生日をインタビューしよう				◎ 誕生日について、すすんで尋ねたり答えたりしようとしている。	行動観察・英語ノート点検

○評価規準は目標に照らして設定される。それぞれ目指す姿が具体的に設定される。

～に興味をもつ → ～に答えている。

～に慣れ親しんでいる → ～ゲームで…と言っている。反応している。

～に気付いている → ～について日本との違いを英語ノートに書いている。

○活動から考えられる評価例

Key word game を行う際の子どもの姿として、Key word を言ったら消しゴムを取ろうとしている（取っている）かどうかを見る。

Ⅲ 小学校 1～4 年生の外国語に触れる活動について

県内の状況を見ると、幼少期に外国語を学ぶことの意義などを考慮し、多くの小学校が、1～4年生の教育課程外の時間や総合的な学習の時間等において、様々な内容で外国語に触れる活動を行っています。ここでは、5・6年生で行われる「外国語活動」以外の外国語に触れる活動を行う際の留意点等を示しますので、指導計画の立案や授業実践の際の参考にしてください。

(1) 教育課程外で行う場合

実施する学校等が、自校の児童の実態を踏まえ、独自にねらいや活動等を定めることとなります。

学校が5・6年生の外国語活動へのつながりを意識して、ねらいや活動を設定する場合には、次のようなことが考えられます。

〈例1〉 ねらい	外国語や、外国語を用いたコミュニケーションに対する興味や関心を高める。
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を聞かせ、特有の音声やリズムに触れさせる活動 ・外国の絵本の読み聞かせなど、異文化に触れさせる活動 ・外国語のあいさつを交わすなど、友だちとかかわる楽しさを味わわせる活動
〈例2〉 ねらい	幼少期の特性を生かし、外国語の音声に慣れさせる。
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語のリズムや外国語の歌に合わせ身体を動かす活動 ・ALTなどの外国語の発音を模倣させる活動 ・外国語の歌を歌うなど、楽しみながら自然に外国語に触れる活動

※平成23年度から各学年の授業時数が増加しますので、教育課程外の時間で行う活動については、児童や教師の加重負担とならないよう精選していくことも大切です。

(2) 総合的な学習の時間で行う場合

小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）には次のように書かれています。

小学校において、国際理解に関する学習を行う際には、問題の解決や探究的な活動を通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動が行われるように配慮する。

5・6年生の外国語活動と同様の学習を行ったり、スキルの習得に重点を置くなど単なる外国語の学習を行ったりすることは、これまでと同様、総合的な学習の時間にふさわしい学習とは言えません。

これらを踏まえると、外国語に触れる活動を含んだ総合的な学習の時間の単元計画は例えば、次のようになります。

外国語に触れる活動が含まれる総合的な学習の時間の単元計画例

- 1 単元名 「わたしたちの町を紹介しよう」(4年生)
- 2 単元の目標
自分の町を幅広く紹介するための「町案内」の作成活動を通して、自分の町のよいところを再発見し、地域の一員として生きていこうとする態度を育てる。
- 3 単元の構想

過 程	学 習 活 動		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div> 	<p>○群馬デスティネーションキャンペーンに向けた他校の取組の様子をビデオで見るなどして、気づいたことや疑問に感じたことを出し合い、課題を決める。</p> <p style="padding-left: 20px;">課題例 他県の小学校にわたしたちの町を紹介する 外国人にわたしたちの町を紹介する</p>		
	<p>○県外から転校してきた児童やALTが、この町に来た時に知りたかった町の情報やこの町にきてよかったことなどについてインタビューをする。</p> <p>○紹介の方法を決め、その調べ方を検討する。</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div> 	<p>○自分の町の「紹介したいこと」について、調査する。</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> 	<p>○調査した内容について、「県外の人に知ってもらいたいこと」、「外国人に知ってもらいたいこと」などの観点から情報を整理したり、さらに必要な情報を収集したりして、わたしたちの町のよさを明らかにする。</p>		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【他県の小学校に紹介する班】</p> <p>○他県の小学校に向けた紹介の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレター ・パンフレット ・学校新聞 など </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【外国人に紹介する班】</p> <p>○紹介をする際に役立つ英語の表現について知り、言い方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介の場面で使用頻度が高い表現に絞って練習する。 <p>○外国人に伝えるために、練習した英語の表現以外に必要なことを考え、準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体練習を行った英語の表現以外は、班ごと伝え方を考えさせる。 (視覚にうったえるものを用意させたり、ALTに質問させたりする。) </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">【他県の小学校に紹介する班】</p> <p>○他県の小学校に向けた紹介の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレター ・パンフレット ・学校新聞 など 	<p style="text-align: center;">【外国人に紹介する班】</p> <p>○紹介をする際に役立つ英語の表現について知り、言い方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介の場面で使用頻度が高い表現に絞って練習する。 <p>○外国人に伝えるために、練習した英語の表現以外に必要なことを考え、準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体練習を行った英語の表現以外は、班ごと伝え方を考えさせる。 (視覚にうったえるものを用意させたり、ALTに質問させたりする。)
<p style="text-align: center;">【他県の小学校に紹介する班】</p> <p>○他県の小学校に向けた紹介の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレター ・パンフレット ・学校新聞 など 	<p style="text-align: center;">【外国人に紹介する班】</p> <p>○紹介をする際に役立つ英語の表現について知り、言い方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介の場面で使用頻度が高い表現に絞って練習する。 <p>○外国人に伝えるために、練習した英語の表現以外に必要なことを考え、準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体練習を行った英語の表現以外は、班ごと伝え方を考えさせる。 (視覚にうったえるものを用意させたり、ALTに質問させたりする。) 		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> 	<p>○小学校に紹介する班と外国人に紹介する班でリハーサルを兼ねた紹介を相互に行い、よさや不十分な点を伝え合い、自分たちの紹介を改善する。</p>		
	<p>○ビデオレターなどを送ったり、外国人を招いて自分たちの町を紹介したりする。</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">振り返り</div>	<p>○ビデオレターへの返信や招待したの外国人の感想を基に振り返り、町のよいところについてまとめる。</p>		

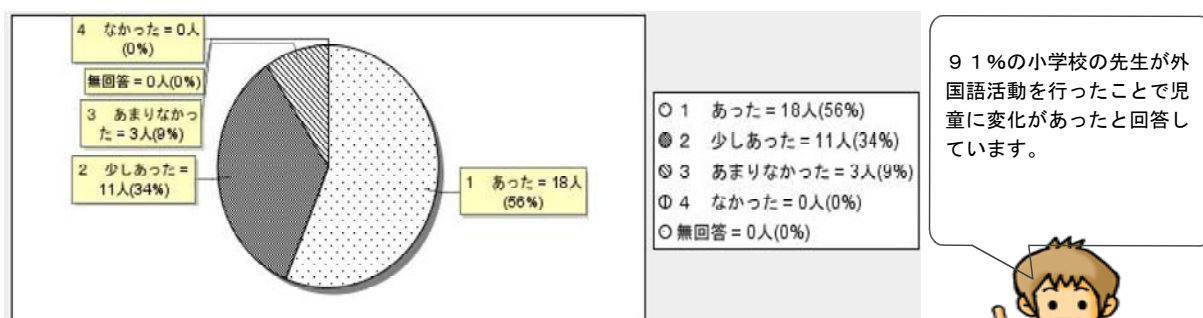
IV アンケート調査の結果から見える外国語活動のよさや課題

群馬県教育委員会では、平成22年10月に県内の実践推進校8校と同一校区の中学校の児童生徒（小学生948人、中学生1,058人）と教師（小学校32人、中学校8人）を対象に小学校外国語活動に係るアンケート調査を実施しました。

特徴的な結果が見られたものを中心に、以下に考察を示しますので参考にしてください。

1 子どもの変化について

Q 外国語活動を行うことで、貴校の児童に変化はありましたか。（小学校教師用）



91%の小学校の先生が外国語活動を行ったことで児童に変化があったと回答しています。



教師の自由記述より、以下の意見があげられました。

- ・楽しそうにコミュニケーションをとる様子がたくさん見られるようになった。
- ・普段話さない児童同士が外国語活動では交流を楽しんでいる様子が見られた。
- ・消極的な児童が積極的に他の児童とかかわることができるようになった。
- ・教師とのコミュニケーションが増えた。
- ・ジェスチャーを使ったり、知っている言葉を駆使して相手に伝えようとしたりするなど、表現力高まった。

外国語活動の時間において、学級内のいろいろな児童とかかわる活動を設定したことで、人とかかわることを楽しむ児童が育っています。

- ・「この言葉は英語で何て言うの？」など、分からない言葉や知りたい言葉を積極的に質問する児童が出てきた。
- ・授業以外でも習った表現を使用する児童が出てきた。

外国語への興味・関心が育っています。

- ・子ども同士の仲がよくなった。
- ・あいさつを男女関係なくできるようになった。
- ・配布物を配る際、お礼が言えるようになった。
- ・他教科のグループ活動がスムーズになった。
- ・普段からよく話をするようになった。 など

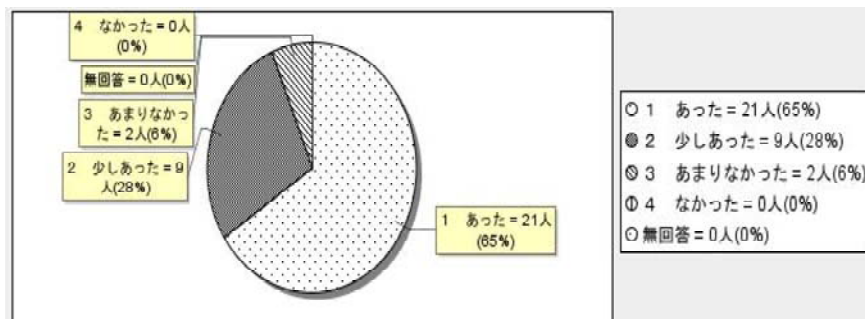
日常の学校生活にもよい影響が見られています。

○多くの教師が、外国語活動を行うことにより、子どもにより変化があらわれているととらえている。特に人とかかわり方についてのよい変容が見られる。

このような変化が見られるようになるために  【II 課題とその方策 課題2】P5、6

2 教師の変化について

Q 外国語活動を行うことで、貴校の教員に変化はありましたか。(小学校教師用)



93%の小学校の先生が外国語活動を行ったことで教師に変化があったと回答しています。



教師の自由記述より、以下の意見があげられました。

- ・指導計画や教材等の準備が進み、授業に対する心配が減ってきた。
- ・実際に授業をしてみると、楽しいことがわかった。

授業を実践していくことで、先生方の不安が軽減しています。

- ・教材を工夫するなど、児童が楽しめる授業づくりを工夫できるようになった。
- ・ALTに任せきりでなく、共に授業を進めるようになった。

実践を進めていくことで、1つずつ課題が解決され、指導意欲が高まってきています。

- ・学校全体で研修に取り組み、外国語活動に対する理解が深まった。
- ・高学年以外の教師も、指導計画や教材づくりに取り組み、学校全体で指導力の向上を図った。

学校全体での共通理解がよりよい授業づくりにつながっています。

各実践推進校の熱心な、そして組織的な取組が、個々の教員のプラス面の変化につながったと考えられます。

このような変化は、外国語活動の授業を行ったり、学校全体で授業づくり等に関する研修を行ったりすることにより初めて起こるものですから、同学年の他の教員と協働して授業づくりを行ったり、学校全体で外国語活動のねらいや内容等に関する研修を深めたりして、まず、授業に対する不安を減らすことが重要です。

授業に対する不安が減ることにより、児童の興味を高める教材づくりや、児童が楽しめる活動内容の工夫など、指導意欲の高まりが見られるようになり、児童と共に楽しめる外国語活動が行えるようになります。

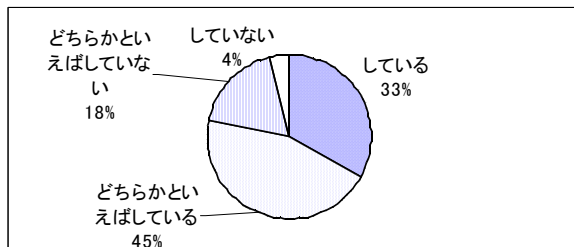
- 研修が進み、指導計画や教材等が整備されていくことで、授業に対する不安が減少している。
- 学校全体の組織的・継続的な取組が必要である。

このような変化が見られるようになるために ➡ 【Ⅱ 課題とその方策 課題1】P4

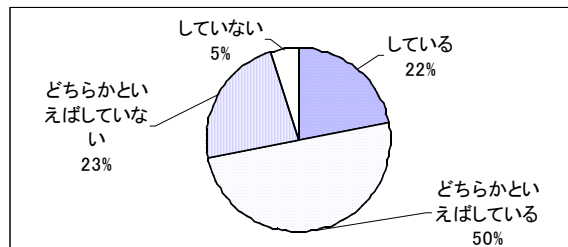
3 つまずきの実態について

Q 先生や友達と英語で積極的に話していますか。(児童用)

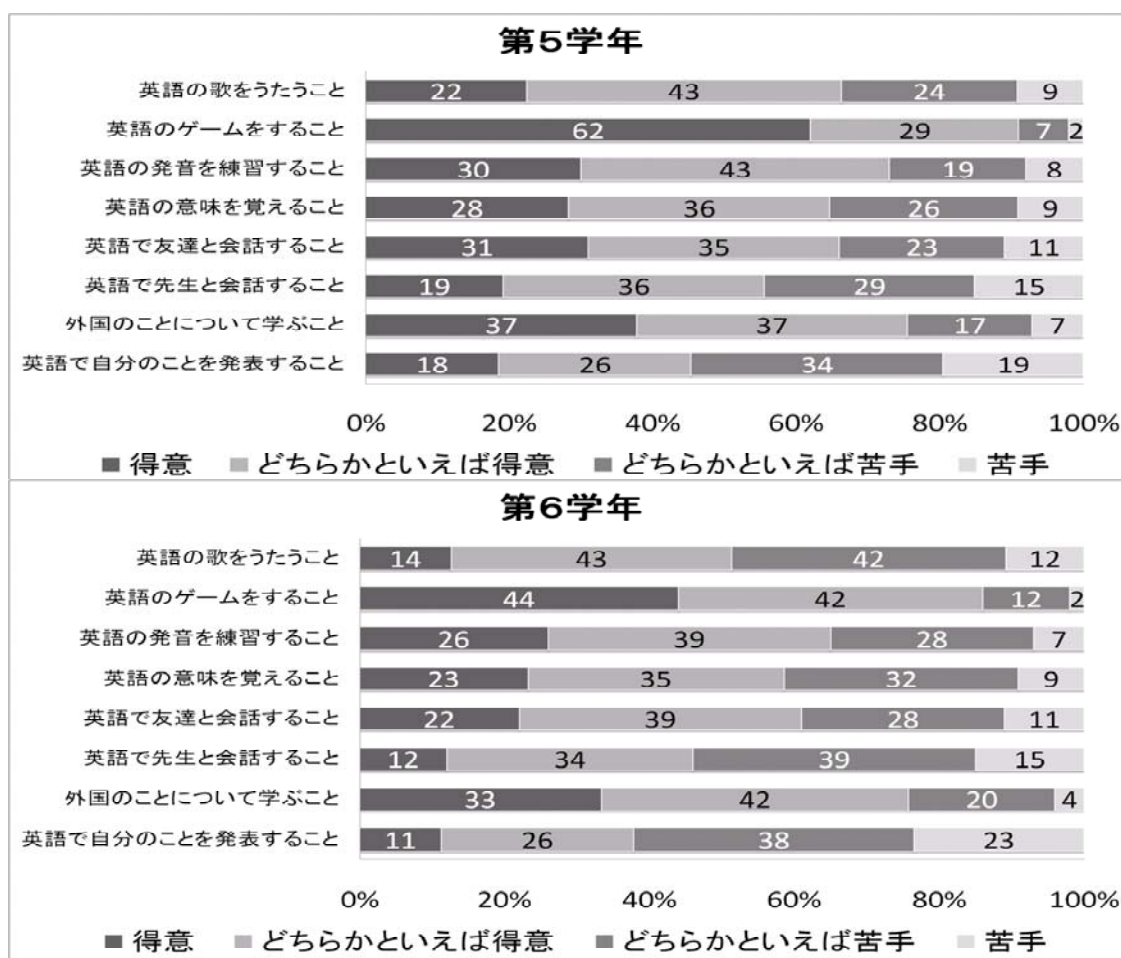
5年生



6年生



Q 次の活動について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。(児童用)



○「得意」、「どちらかといえば得意」が多かった活動
「英語のゲームをすること」、「外国のことについて学ぶこと」、「英語の歌を歌うこと」

○「苦手」「どちらかといえば苦手」が多かった活動
「英語で自分のことを発表すること」、「英語で先生と会話をする事」、
「英語の意味を覚えること」、「英語の発音を練習すること」

児童の自由記述に「聞き取れない英語は活動の時に何と言えばいいのか分からない」「英語の長い文を言うとき最初の方は分かっているけど後になると分からなくなってしまう」とあるように「英語を覚えきれない」ことから「言えない」ことにつながり、自信がなくなっているものと考えます。また、発表活動において、覚えたことを発表しなければならない、という授業づくりに対しては、「苦手」であり、「難しい」と感じていると思われる。『覚えること」「練習すること」の授業に対する負担感がうかがえます。

- 学年が進むとゲームや歌などの活動には次第に興味は薄れていく傾向がある。
- 発表することや発音を練習したり、覚えたりするなどの活動に自信がなく、負担感を感じている児童が多い。

～ 児童が自信をもって取り組める活動を設定するために ～

- 児童の実態を把握する。(得意な活動や苦手な活動を把握する。)
- 児童の実態に応じた活動内容や形態を設定する。
- 意欲や自信につながる児童へのかかわり方を心がける。

児童のつまずきに対する手だてを工夫することが、児童の自信につながります。児童の実態、授業中の様子をよく見取り、どの児童にとっても「楽しい」活動となるための活動内容の工夫や教師の児童へのかかわり方が児童の学習意欲を高めることにつながります。

— 活動内容や形態の工夫 —

- ・ 扱う表現や単語を精選し、段階を追って、少しずつ活用するようにする。
- ・ ゲームや簡単なやりとりを通して、自然に英語を聞いたり、言ったりする活動を設定する。
- ・ 聞かせる文は長過ぎず多過ぎず、視覚的に分かるヒントをつける。
- ・ ゲームなどの活動を行うときには、活動形態を配慮し、協力できる要素を取り入れる。
- ・ 発表は、楽しい活動等を通して慣れた後に行う。
- ・ 発表する場や内容、方法を実態に合わせて行う。友達と協力し合ったり、集団で取り組めるような、楽しさを実感できるようにする。
- ・ 児童が「わかった」、「伝えられた」と感じられるコミュニケーションの場を設定する。

— 教師の児童へのかかわり方 —

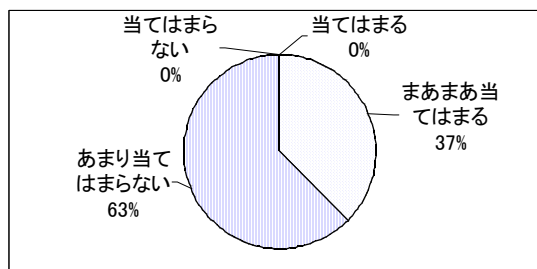
- ・ 間違っても恥ずかしくないと思える雰囲気をつくる。
- ・ 児童に多くの賞賛の声かけをする。コミュニケーションを図ろうとしたこと、よくわからなくても発音しようとしたことなどの意欲面のよさは特に賞賛する。
- ・ 児童に完璧を求めない。

子どもの興味・関心を継続するために  【Ⅱ 課題とその方策 課題2】P5、6

4 小中連携について

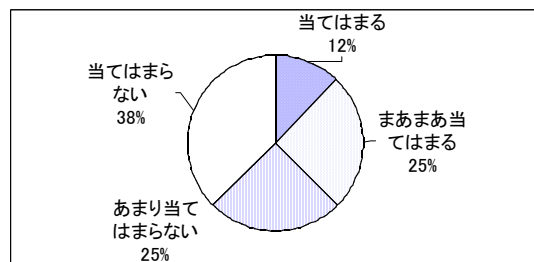
Q 小学校の指導を踏まえて中学校の授業を行っていますか。
(中学校教師用)

グラフ 1



Q 小学校の外国語活動担当の先生と中学校の英語の先生とで集まり、情報交換や協議等を行う機会がありますか。(中学校教師用)

グラフ 2



グラフ 1・2 はいずれも中学校の英語担当教師への調査結果です。グラフ 1 からは、現在、中学校では必ずしも小学校外国語活動の指導を踏まえての指導が十分になされていない状況がうかがえます。その理由の 1 つとして、グラフ 2 にあるように、小中の情報交換や協議等の機会が十分にもたれていないということがあられるようです。

また、中学校英語科教師からの小学校の外国語活動に期待すること（自由記述）を見ると、「活動を通してコミュニケーションへの興味・関心を高めてほしい」「基本的な表現に慣れ親しませてほしい」等の要望がある反面、「アルファベットの定着」「フォニックス（発音と綴りの関係）の導入」、また、「書くことに慣れるようにアルファベットや単語の練習」等の要望もあり、外国語活動に対しての正しい理解がまだ十分でない現状が見受けられます。

これらのことから、小中連携を今後推進し、互いに共通理解のもと、それぞれの学習指導要領の趣旨に合った指導を行っていくことが必要です。

- 小学校で目指しているものと中学校からの要望には格差がある。

小中連携について ➡ 【Ⅱ 課題とその方策 課題 5】 P 1 2

コラム

コミュニケーション能力の育成について

コミュニケーション能力を育成するために、文法的な能力の育成に重点を置いた指導となってしまうことがあります。しかし、「相手の気持ちを読み取って適切な表現を選択する力」などの人間関係に係る能力なども含めて、コミュニケーション能力を総合的に考えましょう。文法能力が十分でなくても、コミュニケーションを図ることはできます。外国語を使って積極的にコミュニケーションを図ることができる子どもを育てていきたいものです。

V 参考資料

1 「新教育課程の編成・実施に向けた参考資料」(外国語活動)

群馬県教育委員会義務教育課(平成22年2月)

(1) 教育課程のポイント

- コミュニケーション能力の素地を養う。
 - ・外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ・外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
 - ・外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

(2) 適切な年間指導計画と題材構成の工夫

○以下の手順を参考に、2年間を見通した年間指導計画を作成しましょう。

- a 外国語活動のねらいを踏まえ、児童や学校、地域の実態に応じて、2年間ではぐくみたい児童の姿を明確にし、各学年ごとの目標を設定する。
- b 日常生活や学校生活などの身近なものから始まって、国際理解的なものへと発展していけるような流れをイメージする。
- c 英語ノートや既存の各市町村や学校の指導計画等を参考に、児童の興味等の実態に応じた題材を決定する。
- d 体験したことや他教科等で学んだことが生かせるように系統的に題材を配列する。
また、ある題材で学んだ表現や単語が他の題材においてもスパイラルに積み重ねていけるような配列も同時に心がける。

○言語や文化に関する内容の指導については、コミュニケーションに関する内容との関連を図り、体験的に学習が進められるように計画しましょう。

- ・言語や文化について、単に知識・理解として教えていくのではなく、外国語の音声やリズムに慣れ親しませることに重点を置いて、児童がコミュニケーションなどの体験を通して、自ら日本語との違いや言葉のおもしろさに気付けるように工夫しましょう。その際、指導内容が必要以上に細部にわたったり、形式的になったりしないように心がけましょう。

○ネイティブスピーカー等とのチーム・ティーチングを行う場合には、これらの方々が有効に活用できるような題材配列や指導内容を計画しておきましょう。

- ・例えば、ある小学校において、「月末に集中してALTの訪問がある。」といった場合には、題材「私たちの町をALTのJohn先生に紹介しよう」において、月末に練習や発表の場面を配列するような計画にしておくといよいでしょう。

○外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、音声面を中心とし、文字や単語の扱いについては、児童の発達の段階を考慮した表現を用い、児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定しましょう。

- ・外国語を初めて学習する段階であることを踏まえると、文字指導は、外国語の音声に慣れ親しんだ段階で開始するように配慮することが必要です。ALT や外国語に堪能な地域人材の人々とのティーム・ティーチングが毎時間可能とは限りませんので、CDなどの音声教材を積極的に活用しましょう。指導計画の作成の際に音声面の計画も考慮していくことが大切です。また、クラスルームイングリッシュや既習の表現など簡単な表現を繰り返し使用していくことで、児童は自然にそれらの表現に親しむことができます。
- ・アルファベットなどの文字指導については、たとえば、学習済みのローマ字との違いに気付けるような単語を扱ったコミュニケーション活動を設定したり、大文字や小文字に触れる段階にとどめるなど、中学校の外国語科の指導とも連携させ、児童に対して過度の負担を強いることのないよう留意しましょう。

○言葉によらないコミュニケーションの手段もコミュニケーションを支える手段であることを踏まえ、ジェスチャーなどを取り上げ、その役割を体験的に理解させる場面を設定しましょう。

- ・例えば、児童が知らない単語を扱う際に、音声のみの場合とジェスチャーを交えた場合の両方を示すことで、ジェスチャーの効果について体験的に理解させていくなどの場面も設定したいものです。

○外国語でのコミュニケーションを体験させるに当たり、「コミュニケーションの場面」や「コミュニケーションの働き」に留意して指導の計画を立てましょう。

- ・「コミュニケーションの場面」
 - (ア) あいさつ、自己紹介、食事、道案内など「特有の表現がよく使われる場面」
 - (イ) 家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事、子どもの遊びなど「児童の身近な暮らしにかかわる場面」
- ・「コミュニケーションの働き」
 - (ア) 相手との関係を円滑にする (イ) 気持ちを伝える (ウ) 事実を伝える
 - (エ) 考えや意図を伝える (オ) 相手の行動を促す
- ・題材を設定し、自分の考えや意見を表現させる場面においては、児童が使える表現には制限があります。しかし、一時間の中で数多くの単語や表現を取り上げるのは児童にとって負担になってしまいます。中・長期的に単語や表現がスパイラルに使用され、積み重なっていくように系統性を意識した計画の作成を心がけましょう。

○小中学校の連続性・一貫性を重視し、小学校の指導内容を明確にしましょう。

- ・中学校での「コミュニケーションの基礎づくり」につながる「年間35時間程度で養える素地づくり」をしっかりとイメージした指導計画の作成を心がけましょう。

2 校内研修計画例

1 研修主題

英語によるコミュニケーション能力の素地を育成するための英語活動の工夫改善
—英語活動実践シートを活用した授業実践の集積を通して—

2 主題設定の理由

(1) これまでの自校の取組や課題から

- ・平成 21 年度は、文部科学省の実践研究校として、「英語ノートの活用のあり方」「評価のあり方」についての研究に取り組み、単元構成や授業スタイルの確立、授業水準の確保等の成果を明らかにした一方で、有効な評価方法、中学校への接続のあり方等に係る研究課題を残しているため。

(2) 児童の実態から

- ・昨年度の研究から、子どもたちの多くが英語活動において「聞くこと」「工夫して話すこと」等、コミュニケーションに係る学習の大切さを理解するようになってきているが、一方で、高学年になるにつれて話すことへの抵抗感を感じる傾向が強くなることが明らかになったため。

3 研修のねらい（研修目標）

英語によるコミュニケーション能力の素地を育成するための英語活動の工夫改善を通して、「相手や場面に応じて楽しくコミュニケーションを図ろうとする児童」「相手の話を聞き取り、自分のことを伝えられる児童」「生活や文化の違いに関心を持ち理解できる児童」を育成する。

4 研修の見通し（研修仮説）

- 各学年の発達段階に考慮した学習内容、教材、学習形態等の工夫を重ねながら実践の集積を進めることで、目指す児童像に迫る学年の系統性が明らかになってくるであろう。
- 各単元ごとの指導計画に対応した評価の計画と方法を明らかにすることで、コミュニケーション能力の素地に係る児童の学習成果を明らかにすることができるであろう。

~~~~~ 中 略 ~~~~~

### 6 研修の具体内容

- ①全校の英語活動の水准确保を図るための授業実践の集積と授業改善
  - ・「英語ノート」等の活用による単元計画の工夫改善
  - ・「英語活動実践シート」の集積と授業研究を通じた指導法の工夫改善
  - ・評価の観点の検証と、効果的・効率的な評価の方法の工夫改善
  - ・ALTや英語活動支援助手との協働体制の推進
- ②学年の系統性と中学校英語教育への接続を指向した指導計画の作成
  - ・各発達段階に応じた実践の集積と検証に基づく系統性の明確化
  - ・中学校段階での英語力づくりに向けた小学校英語活動の役割の明確化
- ③英語に慣れ親しむ学校環境づくり
  - ・英語集会や朝の会等の機会での英語に慣れ親しむ機会の工夫
  - ・校内掲示の工夫による英語に触れる環境の工夫

# 校内研修全体構想図例



### 3 年間活動計画例

5年生

|               | Lesson  | 時数 | 単元名                | 第1時                     | 第2時                        | 第3時                   | 第4時              | 第5時            |
|---------------|---------|----|--------------------|-------------------------|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------|
| 一学期<br>(13時間) | Lesson1 | 5  | 自己紹介をしよう           | 英語やいろいろな言語での挨拶を知る       | ご機嫌いかが? How are you? であいさつ | ネームカード作り              | 好きなものを英語で知る(食べ物) | 自己紹介(名前、好きなもの) |
|               | Lesson2 | 5  | 家族を紹介しよう           | ファミリーバスケ                | なりきり家族紹介                   | なりきり家族の好きなもの          | 家族紹介(誰かひとり)      | 友達と交流          |
|               | Lesson3 | 3  | 体を使って表現しよう         | 体の部分を知る                 | 体の動き<br>Simon says         | 体の調子                  |                  |                |
| 二学期<br>(14時間) | Lesson4 | 3  | 数で遊ぼう              | 0から20までの数ビンゴゲーム         | いくつか尋ねたりしながら20から40までを数える   | 0から50までの数字を使って、ビンゴゲーム |                  |                |
|               | Lesson5 | 4  | 外来語を知ろう            | 身の回りのものから外来語を探す         | 英語ノートp.38~p.39             | オリジナルフルーツパフェ作り        | 友達のフルーツパフェを当てよう  |                |
|               | Lesson6 | 5  | 英語で物語を楽しもう「おおきなかぶ」 | 日本語と英語で大きなかぶを聞き比べる      | 場面分けとどんな台詞が言いたいかわかるように決める  | ALTIに英語での表現を聞く        | 場面ごとに練習          | 発表と振り返り        |
|               | Lesson7 | 2  | クリスマスカードを作ろう       | クリスマスに関する単語を知る          | カードづくり                     |                       |                  |                |
| 三学期<br>(8時間)  | Lesson8 | 3  | クイズ大会をしよう          | 外来語と日本語の響きの違いのおもしろさに気づく | ゲーム作り                      | ゲームで交流しよう             |                  |                |
|               | Lesson9 | 5  | 留学生と交流しよう          | 群馬大学の留学生にきてもらうことを知る     | 交流の準備(吉岡町を紹介しよう)           | 交流の準備                 | 留学生の自国の紹介と交流     |                |

6年生

|               | Lesson  | 時数 | 単元名                | 第1時                 | 第2時                       | 第3時                   | 第4時                         | 第5時 |
|---------------|---------|----|--------------------|---------------------|---------------------------|-----------------------|-----------------------------|-----|
| 一学期<br>(12時間) | Lesson1 | 4  | アルファベットで遊ぼう        | 5年次のふりがえりと自己紹介やあいさつ | ABC衰弱ゲーム                  | ABCカルタと線つなぎ           | ミッションゲームとアルファベットクイズ         |     |
|               | Lesson2 | 4  | できることを紹介しよう        | canの使い方と英語ノートp.24   | ジェスチャーゲーム                 | 英語ノートp.26~27          | 自分のできることと、苦手なことの発表          |     |
|               | Lesson3 | 4  | 友達の誕生日を知ろう         | 月の言い方に触れる           | お誕生日たずねっこビンゴ              | 12ヶ月カルタステレオゲーム        | クラスの友達や先生など身近な人と誕生日を伝え合う    |     |
| 二学期<br>(15時間) | Lesson4 | 3  | 数で遊ぼう2             | 31から60までの言い方を含めたゲーム | 100までの言い方を知り、バズゲーム        | 時間の言い方を知る             |                             |     |
|               | Lesson5 | 4  | 行ってみたい国を紹介しよう      | 様々な国名に触れる           | 行ってみたい国と理由を考える            | 行ってみたい国を友達と尋ねあう       | 全体の前でスピーチをする                |     |
|               | Lesson6 | 5  | 留学生と交流しよう          | 群馬大学の留学生にきてもらうことを知る | 交流の準備(吉岡町を紹介しよう)          | 交流の準備                 | 留学生の自国の紹介と交流                |     |
|               | Lesson7 | 3  | クリスマスカードを作ろう2      | カードに使う単語を知る         | メッセージを書いてカードを仕上げる         | カードを使ったボンゴゲームと、カードの交換 |                             |     |
| 三学期<br>(8時間)  | Lesson8 | 4  | 英語で物語を楽しもう「さるかに合戦」 | 日本語と英語で大きなかぶを聞き比べる  | 場面分けとどんな台詞が言いたいかわかるように決める | ALTIに英語での表現を聞く        | 場面ごとに練習と発表                  |     |
|               | Lesson9 | 4  | 将来の夢を紹介しよう         | 職業の言い方を知る           | 英語ノートp.58~59              | 英語ノートp.59~60          | グループ内でのスピーチ<br>代表は全体の前でスピーチ |     |

#### 4 単元計画例

5 学年（4 月）

|                                                                                                       |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単元名                                                                                                   | もっとなかよくなるよう                                                                                                                                                                              | 目<br>標                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の大切さを知り、表情豊かに友達と交流することができる。</li> <li>・今まで知らなかった友達のよさを、交流を通して知る。</li> </ul>                                                                                                                                                                  |
| 評価<br>規準                                                                                              | <p>○自分のことを伝え合う英語表現に親しみながら、コミュニケーション活動を楽しんでいる。</p> <p>○好きなことや住んでいるところを伝える英語表現を使って、友だちと交流できる。</p> <p>○いろいろな国のあいさつの仕方や言葉の違いに興味を持っている。</p> <p>○あいさつするときお互いにアイコンタクトや笑顔、うなずきが必要なことに気づいている。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                                                       | ねらい                                                                                                                                                                                      | 主な学習活動                                                                                                                                                                                                                                                     | ◇教具・言語材料*指導のポイント                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 1                                                                                                     | <p>○あいさつするときに大切なことに気づき、表情豊かに友達と交流することができる。</p> <p>○人に会ったときの対応の仕方について、文化の違いを知る。</p>                                                                                                       | <p>①よく聞いてみよう<br/><b>英語ノート5年 P4,5</b><br/><b>CD を聞いて、どの国の「こんにちは」かを考えて一緒に言ってみる。</b></p> <p>②人に会ったときの英語表現に慣れる。</p> <p>③目と目でコミュニケーションゲーム<br/>はじめは相手の目を見ないであいさつをし、次に相手の目を見て笑顔であいさつする。感じの違いを発表する。</p> <p>④あなたはだあれゲーム<br/>有名人になりきってあいさつをし、交流した相手の名前をサインしてもらう。</p> | <p>◇ ワークシート</p> <p>・ A: Hello.            B: Hello.<br/>A: My name is ~.<br/>  What's your name?<br/>B: My name is ~.<br/>A: Nice to meet you.<br/>B: Nice to meet you too.</p> <p>*あいさつは心を込めて言うことや、相手の目を見て言うことなど必要なことに気づいていく。</p> <p>*ジェスチャーをつけたり、表情豊かに受け答えをしたりして、楽しく交流できるようにする。</p> |
| 2                                                                                                     | <p>○好きかどうかをたずねる活動を通して、友達のことを理解する。</p>                                                                                                                                                    | <p>①あなたはだあれゲームで前時の復習をする。</p> <p>②好きかどうかをたずねる言い方の英語表現に慣れる。<br/>《カードめくりゲーム》</p> <p>③インタビュー予想ゲーム<br/>自分の好きな物を伝え、相手にそれが好きかどうかをたずねる。交流する相手の答えをあらかじめ予想させておき、ワークシートに○×を書き込んでいく。</p>                                                                               | <p>◇ワークシート</p> <p>・ A: I like ~.<br/>  B: Do you like ~?</p> <p>*交流する友達が偏らないように、班や列で交流するとよい。</p>                                                                                                                                                                                      |
| 3                                                                                                     | <p>○自分の住んでいるところや好きな物、そうでない物を伝え合い、友達のことを理解し合う。</p>                                                                                                                                        | <p>①あいさつリレーをする。</p> <p>②なりきりあいさつゲームをする。</p> <p>③住んでいるところや好きなもの、好きでない物と言う英語表現に慣れる。<br/>《カードめくりゲーム》</p> <p>④自分のことを紹介しようゲーム<br/>名前、住んでいるところ、好きな物、好きでない物などを紹介する。</p>                                                                                           | <p>◇ワークシート</p> <p>・ I live in ~.<br/>・ I like ~. I don't like ~.</p> <p>*ほめ言葉を紹介し、たくさん使って、お互いに気持よく交流できるように言葉かけをする。</p>                                                                                                                                                                |
| <p>〈notes〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元をしてみて、気付いたこと</li> <li>・ 他教科との関連等</li> </ul> |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



## 5 1 単位時間の活動計画例 ①

5 学年（4 月）

|                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |                                        |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------|
| 単元名                                         | もっとなかよくなろう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ね<br>ら | ・あいさつするとき大切なことに気づき、表情豊かに友達と交流することができる。 |
| 本時                                          | 1 / 3 時間目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | い      | ・人に会ったときの対応の仕方について、文化の違いを知る。           |
| 準備                                          | ワークシート                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |                                        |
| process<br>過程                               | 主な学習活動 *支援のポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        | 具体的な評価規準                               |
| あいさつ<br>5分                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ Good morning. How are you?<br/>I'm good. (sleepy, fine, so so,)<br/>(天気、曜日など)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |                                        |
| presentation<br>8分                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人にあったときのあいさつを日本語と英語でする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           5年 P4, 5<br/>           CDを聞いて、どの国の「こんにちは」かを考えて、一緒に<br/>           言ってみる。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と他国の違いに気づく。</li> <li>・人にあったときの英語表現に慣れる。</li> </ul> A: Hello. B: Hello.<br>A: My name is ~. What's your name?<br>B: My name is ~.<br>A: Nice to meet you. B: Nice to meet you too. |        | ○日本とアメリカや他の国のあいさつの違いについて気づいている。        |
| practice<br>(練習)<br>activity<br>(活動)<br>30分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム1 目と目でコミュニケーション<br/>相手の目を見ないで、全然笑いもしないであいさつをする。<br/>次に相手の目を見ながら、にっこり笑ってあいさつをする。<br/>どちらも感想を発表する。</li> </ul> あいさつは心を込めて言うことや、相手の目を見て言うこと<br>など必要なことに気づいていく。                                                                                                                                                                                                                                                          |        | ○あいさつに必要なことに気づき、表情豊かに友達と交流している。        |
|                                             | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           5年 P7<br/>           ゲーム2 あなたはだあれ?<br/>           有名人になりきって、あいさつをする。ワークシートには自分<br/>           が出会った人の名前を書いておく。たくさんの人名前が<br/>           書けるように、たくさんの人と交流をする。<br/>           *ジェスチャーをつけたり、表情豊かに受け答えをしたり<br/>           して、楽しく交流できるようにする。         </div>                                                                                                                                           |        |                                        |
| closing<br>(振り返り)<br>5分                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Thank you. See you next week. Good bye.</li> <li>振り返りカードを書く。</li> <li>・終わりのあいさつ</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |                                        |

## 1 単位時間の活動計画例②

Lesson5 平成 年 月 日 ( )

|                 |     |                 |
|-----------------|-----|-----------------|
| 6 年 組 第 1 時 / 3 | 指導者 | T1 担任<br>T2 ALT |
|-----------------|-----|-----------------|

|                   |                                                        |
|-------------------|--------------------------------------------------------|
| ね 本<br>ら 時<br>い の | 英語で道案内をするという単元の見通しをもち、町中にある様々な建物などの言い方に興味をもち、理解しようとする。 |
|-------------------|--------------------------------------------------------|

| 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価の観点                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <p>1. あいさつ</p> <p>2. 担任とALTとのSkritを聞き、本単元の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Where is Akabori library?<br/>Turn right. Go straight. Go straight and stop.</p> </div> <p>3. 町中にある様々な建物などの言い方に慣れ親しむ。<br/>(授業前に、英語ノートについている建物カードを切っておく)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>school police box bank bus stop flower shop<br/>restaurant hospital post office fire station park<br/>department store train station bookstore barbershop</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物などの言い方を知り、発音練習をする。</li> <li>・クイズ「What 's this?」</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>黒板に貼ってある建物絵カードを見る。ALTがそれらの絵カードの1枚を選び、その建物についてのヒントを言う。それを聞いて、どの建物かを当てる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴ・ゲーム</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>巻末建物絵カードを各自が切り取る。14枚のうち9枚を選び、机の上に縦横3列に並べ、ビンゴ・シートを作る。ALTが言った絵カードが机の上であれば、それを裏返す。</p> </div> <p>4. 方向を表す表現に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの言う表現を聞いて、体の向きを変える。</li> </ul> <p>5. おわりのあいさつ</p> | <p>建物の言い方を聞いて、それを指さそうとしたり、ALTのあとについて単語を言おうとしたりしている。<br/>(行動観察)</p> |

|                  |                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コ<br>メ<br>ン<br>ト | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語ノートの巻末についている絵カードを切り取っておいたので、時間が短縮できた。絵カードを切るのには、かなり時間がかかるので、授業時間外で切っておく必要があると思う。</li> <li>・ビンゴ・ゲームも、このやり方だと、ビンゴシートを作る必要もなく、何回も繰り返してテンポ良くゲームができる良さがあって、児童も楽しく取り組めた。</li> </ul> |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

群馬県小学校外国語活動推進協議会

実践推進校一覧

伊勢崎市立赤堀小学校

吉岡町立駒寄小学校

高崎市立国府小学校

富岡市立高瀬小学校

長野原町立応桑小学校

片品村立片品小学校

桐生市立新里中央小学校

板倉町立南小学校